

戦争国家づくりノー

「総がかり」など 国会前19日行動に1000人



「環境友好」「辺野古新墳塚建設やめよ」などの要求をアピールする人たち=19日、衆院第2議員会館前

いる場合ではない」と強調。「戦争の不条理を私は許すことはできない。目の前の命と暮らしを第一に考えられる社会を切り替えていこう」と訴えました。

市民連合の佐々木真運営委員は、戦争は一度始まつたら誰にも止めることができないと指摘。「私たちは横のつながりを一層広げて、戦争国家づくりを止めさせよう」と語りました。

共通番号いらないネットの宮崎俊郎さんは、「マイナカードの強制は法律にも違反する。保険証の廃止を撤回させよう」と話しました。

大軍拡・大増税を許さず、憲法に基づいた政治の実現を求めて19日夜、衆院第2議員会館前を中心に掲げて1000人(主催者発表)が参加し、市民や政黨の代表が訴えました。主催は総がかり行動実行委員会(会長)は、先の国会では憲法が次々採択されたと告発しました。「守れ―憲法・人権」(衆院NO・全国市議会アクション)。「中国敵視をあおる